

学外企画展「琉大資料でつなぐとよみ・とみぐすくの今昔」の開催について

—ひとときのタイムトラベル—

琉球大学附属図書館 保存公開係

1.趣旨

琉球大学附属図書館は、開館以来、琉球・沖縄独自の歴史や文化・自然を背景とした学術資料の収集・保存・公開に努めている。2001年度からは地域連携の一環として、琉球列島各地で、その地域に即した資料を組み合わせ展示する貴重書展を開催している。

2025年度は、豊見城市教育委員会との共催により「琉大資料でつなぐとよみ・とみぐすくの今昔」を開催する。本学の学術資源である琉球・沖縄関係の資料を公開することで、琉球・沖縄の歴史・文化・自然を身近に、且つ総合的に学べる機会の創出を目指す。

2.概要

企画展名称：琉大資料でつなぐとよみ・とみぐすくの今昔

開催場所：豊見城市歴史民俗資料展示室

開催期間：2025年10月1日（水）～10月26日（日）

休室日：10月6日（月）、13日（月）、20日（月）

主 催：琉球大学附属図書館

共 催：豊見城市教育委員会

企画展ウェブページ：<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/18502/>

関連イベント：

①オープニングセレモニー

日時：10月1日（水）10:00～11:00（企画展初日）

※閉会后、展示を担当した当館職員による展示説明会（ギャラリートーク）を開催

②講演会「史料にみる近世の豊見城」

日時：10月4日（土）14:00～15:30

講師：麻生 伸一（人文社会学部教授）

定員：30名（申込不要。当日先着順）

③ワークショップ「豊見城の沖縄戦とVRを活用した平和教育」

日時：10月11日（土）14:00～15:30

講師：北上田 源（教育学部准教授）

定員：20名（企画展ウェブページから事前申込が必要）

構成：

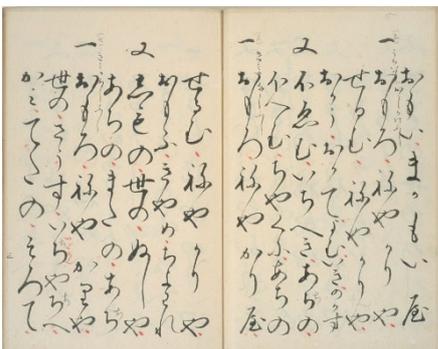
- ・沖縄戦・平和教育に関する本学の教育・研究活動の紹介
- ・豊見城市に関する、附属図書館や博物館（風樹館）所蔵資料の展示

3. 展示資料の例



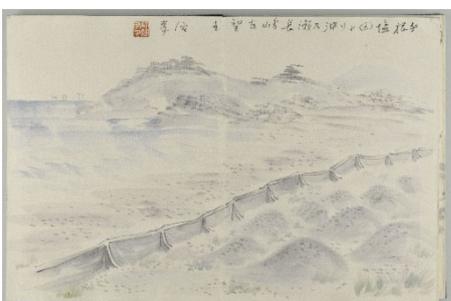
『ペリー提督遠征記』

海軍提督ペリー率いるアメリカ艦隊の東洋遠征報告記です。「ティマ・グスコ」（豊見城）を訪れており、見開きの"LEW CHEW"と題する挿絵は、豊見城グスクの西原門付近より那覇港を望んだ風景を描いています。



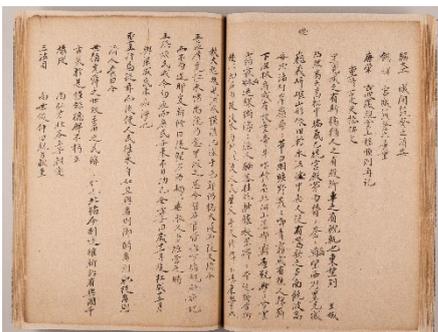
『おもろさうし』（仲吉本）

仲吉朝助（なかよし・ちょうじょ）が所有していた安仁屋（あにや）本系統の写本です。豊見城のおもろは、全部で8首収められています。巻8-5には、保栄茂（びん）のすぐれた按司を賛美する内容が記されています。



相川俊孝（あいかわ・としか） 『琉球遊記』

相川俊孝（1889~1940年、石川県出身）は、大正時代を代表する詩人の一人です。沖縄島の各地をめぐって、その様子を詩と挿絵に書き残しています。左の絵は100年前の瀬長島近辺のスケッチです。



『琉球国中碑文記』

（りゅうきゅうこくちゅうひもんき）

近世期の碑文を収録した資料で、真玉橋（まだんばし）や石火矢橋（いしびやばし）の改修記録が記されています。

令和7年度琉球大学附属図書館企画展

琉大資料でつなぐ とよみ・とみぐすくの今昔

2025年10月1日(水) - 10月26日(日)

会場 豊見城市歴史民俗資料展示室

開室時間 9:00 - 12:00・13:00 - 17:00 (入室は16:45まで)

休室日 6日・13日・20日

関連企画

講演会

「史料にみる近世の豊見城」

講師 麻生 伸一 (琉球大学人文社会学部教授)

日時 10月4日(土) 14:00-15:30

定員 30名程度(申込不要。当日先着順)

ワークショップ

「豊見城の沖縄戦とVRを活用した平和教育」

講師 北上田 源 (琉球大学教育学部准教授)

日時 10月11日(土) 14:00-15:30

定員 20名程度(右下QRコードから事前申込が必要)

入場
無料

主催 琉球大学附属図書館

共催 豊見城市教育委員会

協力 琉球大学博物館(風樹館)

お問合せ先

琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係

TEL 098-895-8697 E-mail tsokinawa@acs.u-ryukyuu.ac.jp



戦後 80年
沖縄戦 × 琉球大学

77
国立大学2025

特設サイト

